

3日に引き続き、通告順に発言を許します。

近藤新二議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。〔16番 近藤新二君登壇〕

○16番（近藤新二君）

おはようございます。創生クラブの近藤新二です。

事前に提出した通告書に基づき、1回目の質問をさせていただきます。

1、人口減少対策について。

当市の人口は、1市2町が合併した平成17年3月には4万9,844人でしたが、令和3年8月1日現在では、4万822人と16年間で約9,000人が減少となり、人口減に歯止めがかからない状況です。

第2次糸魚川市総合計画の人口及び世帯数の推移と将来推計では、平成35年（令和5年）の目標人口が4万900人と設定されています。毎年、人口減少対策に対する事業を推進していても、人口増になっていないのが実態です。

人口減少が及ぼす市の財政問題や地域経済は、市民にとって近い将来に大きな問題となってきます。昨年と今年はコロナ禍の中で事業もままならない状況ですが、減退することなくスピード感を持って確実に進めるために、今までの事業の課題解決や見直しが必要と考えますが、以下の項目について伺います。

(1) 移住定住の促進に関する主要事業別の推移について伺います。

(2) 結婚を希望する男女への婚活支援について伺います。

2、防犯・交通安全対策の充実について。

今年の6月28日に千葉県八街市の市道で、歩いて下校途中の市立朝陽小学校の児童の列にトラックが突っ込み、男女5人が死傷する悲しく痛ましい事故が発生しました。

当市の各地域においては、防犯活動や登下校時の見守り等の活動を実施していますが、子供たちを守るための防犯・交通安全対策は十分と言えるか、以下の項目について伺います。

(1) 児童が安全に登下校する通学路の安全施設等の点検状況について伺います。

(2) 市内幼稚園・保育園や小中学校の防犯カメラの設置状況について伺います。

(3) 市所有車へのドライブレコーダー設置状況について伺います。

3、糸魚川産木材について。

7月20日に建設産業常任委員会の委員会協議会において、「林業振興について」の意見交換を行いました。

ウッドショックによる現在の状況では、地元製材業者は値段が高くても地元の木材を購入しており、ぬながわ森林組合は、地元製材業者に、ほかより値段を下げ販売しているという、地元業者間の努力が伺えました。

地元製材業者は外来材や県外の材料と値段が折り合うよう、糸魚川産木材の値段を下げ営業することにより、収益が見込めないため、地元製材業者の廃業が続いている現状をどのように考えるか伺います。

以上で、1回目終了させていただきます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

おはようございます。

近藤議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、修学資金返済支援事業では、元年度42件、2年度50件の利用があり、賃貸住宅家賃補助事業では、元年度29件、2年度では34件の利用となっております。

2点目につきましては、民間団体が主催する婚活イベント支援や県の婚活マッチング事業への入会支援をはじめ、若者の多様なライフスタイルに合わせた出会いの場の創出や縁結び相談会などを実施いたしております。

2番目の1点目につきましては、毎年、各学校において実施してる点検に加え、地元地区やPTA、さらには防犯パトロール員からも実施いただいております。点検結果について情報の共有を図っております。

2点目につきましては、昨年度までに市内全ての幼稚園、保育園及び小・中学校で防犯カメラを設置いたしております。

3点目につきましては、元年度に全ての市所有の一般車両へドライブレコーダーを設置いたしております。

3点目につきましては、林業を取り巻く環境は、全国的にも厳しく、安価な輸入材の増加や大手ハウスメーカー等の進出によりまして、製材業者の減少につながってるものと捉えております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

ご答弁ありがとうございました。

1の人口減少対策について、（1）移住定住の促進について伺います。

移住定住の促進事業は、糸魚川市への移住を希望する人に対し、市内の仕事、住まい、地域などの生活に身近な情報を提供し、スムーズに暮らし始める支援を行う基本方針がありますが、平成27年度に支援制度を利用して移住された方は6人でしたが、それ以降に移住された方は、計画目標に対してどのように推移してきたか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

おはようございます。

お答えいたします。

平成27年度に第1期のまち・ひと・しごと創生総合戦略をつくって、進めてまいりました。28年度以降が実質の支援制度の創設ということになります。当課で把握している移住者の数につきましては、平成30年度で43人、令和元年度では64人、令和2年度では50人となっております。コロナの関係で非常に厳しいところもありますが、これといった点は、順調に推移してきたものというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

ありがとうございます。昨年コロナ禍の中で、首都圏などへUIターンの相談会ができない状況だと思いますが、東京の有楽町と表参道にある、にいがた暮らし・しごと支援センターや糸魚川市への相談件数は、コロナ前と比べどのようになっているか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えいたします。

確かに移住相談会、令和2年度は非常に、元年度の後半からなんです。非常に苦戦しているという状況になります。かつては東京・大阪で年10回ほど、こちらから出向いていろんな情報の発信ですとか地元の方もちょっとお願いする中で進めてまいりましたが、今はやっぱり対面的なやり取りというのがなかなかできないというところが、非常に苦戦しているところであります。

そういった状況でもございますが、何とでも進めたいという形で、オンラインによる相談という形で昨年からは進めてまいりましたが、やはり移住者の相談される方にとっては、対面で、やっぱりコミュニケーションじゃないんですが、臨場感がある、そういった対面形式を望まれてるところが傾向としてございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

移住者を希望される方は、移住体験というものも制度がありますが、宿泊が2泊までの短期的な、ちょっと糸魚川暮らしと、セミオーダー型移住体験ツアー、また、宿泊がもう少し長い、1週間から1か月の滞在型の、移住体験交流施設水上と、糸魚川で暮らす・働く応援プロジェクトなど、積極的に利用者のニーズを合わせたプランをよく検討されてると思いますが、今までの利用者数と、新たに導入されたプランの応募状況を伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えします。

まず、お尋ねのちょこっと糸魚川暮らしであります、平成30年度では24件、令和元年度では27件、令和2年度では12件となっております。

また、働く・暮らす応援プロジェクト、インターンシップでは、平成30年度は4人で行いました。令和元年度も4人ですが、残念ながら令和2年度は、コロナの状況という形で、こちらへなかなか来れないというところがあって、実績には至っておりません。

また、令和元年度から水上という形で空き家を改修した体験施設を試行的にやってまいりました。こちらのほうは、イベントの利用もございました関係で、令和元年度の実績は24人という形で実績がございます。やはり移住の体験をされる方については、特にプランという形で、まずこちらへ来たいという、糸魚川を選んでいただくということは何なのかという視点に捉えております。いろんなやっぱりご希望があるということですね。糸魚川のやっぱり教育のことが知りたいですか、特に自然、アクティビティ的などが知りたいとか、ちょっとこうしたテレワークができるとか、そういったニーズがありますので、それぞれに応じた体験活動に応じてこの広い糸魚川市でございますので、このフィールドを目いっぱい使って展開してるという状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

ありがとうございます。これからも移住体験をされた方々のご意見をよく聴き、検証と改善を引き続き繰り返し、人口減少対策につながるよう、よりよい事業に発展するよう要望します。

続いて、（2）の結婚を希望する男女への婚活支援について1つ目ですが、縁結びコーディネーター事業では、結婚を希望する独身男女の出会いの支援や結婚に関わる相談、サポートコーディネーターの方々が、ボランティア活動で行っていると聞いておりますが、現在のコーディネーターの人数は何人で、その人数が十分と言えるか。また、コーディネーターの方のお力で結ばれたカップルは、今まで何組いるか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えいたします。

まず、コーディネーターの皆さんの数ですが、現在6人の方でお願いしているところであります。

2点目の、これが十分なのかというお尋ねであります、決して十分であるというふうには思っておりません。やっぱり幅広く活躍してくださる方が、特に若い世代でも含めてなんですけども、出てきていただけることを願っているというところになります。

それから、あと成果になりますが、この制度は平成19年度から実施いたしております。これまでの間、29人の成婚の実績がございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

続いて、糸魚川市ハッピー出会い創出事業では、婚活イベント等を行う企業等に対して、イベント費の費用の一部を補助し、独身者に対する各種講座の開催、出会いの場の提供とのことですが、これまでの実績を伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えします。

こちらのほうも、先ほどの縁結びコーディネーターと同じように、平成19年度の制度が始まっております。これまで回数でいきますといろんな方がご協力いただきまして、40回を開催いたしまして、参加者につきましては、正確な数は、ちょっと申し上げられないんですが、もう1,000人を超えていくという参加者がございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

糸魚川商工会議所で行っている、みんな集まれ新しい出会い応援パーティーのイベントは、令和元年の10月で6回が開催されてます。定員が、男女各15名でしたが、男性20名、女性22名と定員を上回る多くの方が参加され、カップルも成立し、近々結婚するという情報もあります。

糸魚川商工会議所の担当者に現状の課題を聞きますと、このイベントに参加される人は、まだいいほうです。ここに来られない人が問題で、多くの人は恥ずかしさや結婚に対して問題視されていないと言われてます。

また、糸魚川市の第2次総合計画の中でも結婚を希望する男女への婚活支援の現状と課題では、婚活イベントにおいても積極的な参加が少ないことが問題であり、参加者の結婚に対する意欲を高めるとともに、結婚を希望する男女が参加しやすいような、時代に合った出会いの場を設定する必要がありますと書かれています。糸魚川市の出前講座やコーディネーターの方々等で結婚に対する意識を改善する講座等を開催する考えはありますか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

議員のご質問であります。確かに結婚に対する意識の改善というのは、非常に大事だというふうに思っております。引き続き、コーディネーターの皆さんといろいろな情報を重ね合わせ、いろいろな相談会ですとか、いろいろな情報を集める中でのイベントというのは、実施してまいりたいというふうに考えております。

また、そのほか行政のほうでも、各課でいろんな若い人たちとか多世代の方が集まる機会というのが、いろんなイベント、講座、教室、形を変えているところがあります。当課でも、若者の力を活用する事業ですとか、企業さん同士でうまく交流会ができるとか、そういったセミナーも含めた中での取組も進めてまいりますので、引き続き、多くの皆さん方から出ていただけるような形を、コーディネーターさんをはじめ、それから企業の皆さんもちょっと呼びかける中で考えていかなければならないというように思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

ありがとうございます。私もこの3月まで一般企業におりまして、企業の中でも未婚者という問題が、かなり大きくクローズアップされてまして、企業単体でこういったことをやろうと考えたんですが、やはりその中でセクハラ・パワハラという問題が、若干見え隠れしますんで、これは行政と、やっぱり企業がタイアップして、そういった場を提供して、講座を受けやすいような環境にするというのが必要かなと思ってますんで、引き続き、この件についてよろしくお願いします。

次に、2の防犯交通安全対策の充実についてですが、八街市の事故が起きた通学路には、八街市側からは、以前にガードレールの設置要望が出ていたことを明らかにし、大変申し訳ないが十分な措置ができていなかったと述べ、市は、事故が起きた通学路の制限速度の規制や道路を凸型に舗装する対策を進めるといった事故後の報道がありました。が、当市、糸魚川市においてそのような危険と思われる場所や要望事項があるか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

富永こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 富永浩文君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（富永浩文君）

おはようございます。

お答えいたします。

今回の八街市の事故については、当市でも教育委員会として大変重く受け止めております。これまでも定期的に通学路の点検等は行ってきたわけですが、今回の事故の特徴を受けまして、小学校14か校において、まず見通しのよい道路や幹線道路の抜け道になっている道路、つまり車の速度が上がりやすいところ、あるいは大型車が侵入しやすい箇所、多い箇所、そういったところの新しい観点を付け加えながら点検を夏休み中、夏季休業中を使いまして各校で調査を行っていただいているところであります。現在、学校から調査の実施を受けて、今結果を集約しているところであります。今後、関係機関等との連携をしながら、合同点検を行う予定であります。現在64か所、危険箇所として上がってきております。今後また、集約を進める上で箇所も増えてくるのではないかなというふうに考えておりますが、その点検を行いながら関係各課に、道路管理者のほうにも対応を呼びかけていきたいというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

ありがとうございます。事故が発生してからでは遅いので、今も64か所ということで、優先順位をつけて、早急に前向きに改善するよう要望します。

続きまして、（2）幼稚園・保育園や小・中学校の防犯カメラは全てついてるということを伺いましたが、防犯カメラを設置された経緯、また目的をお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

目的・背景につきましては、全国で児童や園児が犠牲になる痛ましい事件、また事故がありまして、そのたびに子供を見守ることの重要性が言われているところであります。

そういった中で、せめて園・学校内でそういった事案が起きないように、施設への侵入事案などの犯罪を抑止する意味でも、園児・児童を守るために園・学校に防犯カメラを設置しているものがあります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

設置するに当たって死角がないように、また、そういったところも点検するように、カメラをつけたよというだけで、またその実績を見ないということがまたありますので、都度点検をしていただきたいと思います。

2018年5月、新潟市で下校途中の女子児童が殺害されるという事件を受け、政府は登下校中の児童の安全を確保するために登下校防犯プランを取りまとめ、地域の連帯強化の活性化、子供の危険回避対策の促進という5つの柱の下、それぞれについて担当省庁が中心となって取りまとめています。登下校防犯プランの中で、防犯カメラは登下校をする児童が通る道の環境整備・改善のために活用できるとされています。登下校をする児童は、集団から離れた後の1人区間や学区内で、大人の目が届きにくい見守りの空白地帯という登下校路の危険箇所において、特に犯罪被害に遭うリスクが高まります。登下校路の危険箇所を的確に把握し、防犯カメラを設置することで学区の安全を強化するものとしております。糸魚川市では、どのように登下校防犯カメラ設置についてお考えか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯野教育次長。〔教育次長 磯野 茂君登壇〕

○教育次長（磯野 茂君）

お答えいたします。

議員おっしゃった国のプランもありますし、児童生徒等の安全確保についての文部科学省からの

依頼や通知に基づきまして、これまで市としても対応を進めてまいりました。

先ほど磯野課長が申し上げたとおり全国での悲惨な事件・事故が、その後も発生しているということ踏まえながら、動く防犯カメラとしてのドライブレコーダーとのすみ分けも図りながら、必要な場所へ設置するよう進めているところであります。

また、防犯カメラやドライブレコーダーに限らず、児童生徒への日頃の指導ですとか保護者や地域、関係機関との連携強化、これも大変重要なことと思っておりますので、それらも合わせて、児童生徒の安全確保に努めてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

今年4月の広報いといがわのおしらせばんにおいて、防犯カメラ設置補助金の申込みが掲載されておりました。この補助金の事業の目的と、いつから始まり、何件の申込みがあったか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

お答えいたします。

この事業の目的でありますけれども、市民の安全で安心な生活の確保、犯罪の未然防止のために令和元年度からの事業であります。これまでに8件の交付決定をしているところであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

子供は地域の宝です。自治会や企業、店舗等で地域の宝である子供を守る活動として、市から防犯カメラ設置を、市が参加している各団体を活用して、お願いすることはできるでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

お答えします。

現在、防犯の関係では、防犯組合連合会がございます。そちらの加盟団体、また、議員のおっしゃるとおり関係機関・団体にも、今後またしっかりとその目的、設置目的等をお伝えしながら、趣旨の同意を頂きながら動いていきたい。また、制度の周知にしっかりと取り組んでいきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

続いて、ドライブレコーダーについて。今年4月の広報いといがわのおしらせばんにおいて、ドライブレコーダー設置促進事業の助成金の申込みが掲載されてました。この補助金事業の目的と基本的な考えは何か、また、いつから始まり、これの申込み状況を伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

お答えします。

市民の安全運転意識の向上及び犯罪の抑止を図ることを目的としまして、ドライブレコーダーの普及を促進されるものであります。

令和2年度からの事業で、これまで1,369台に対して交付してございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

市所有の車には、ドライブレコーダーは全部ついてるよという、先ほど市長のご回答だったんですが、これもまた、市の委託者については、どのようになっているかお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

いわゆる委託者、特に特殊車両になりますが、除雪車関係になりますと、やはりついてないものもたくさんございます。ですので、業者持ちの車もございますが、今後、設置に向けて検討してまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

そのようにされることを要望しますが、また、市職員の車通勤において、申請用紙に自賠責保険のほかに任意保険の加入も義務付けされてると思いますが、今後、ドライブレコーダー設置も条件の一つに加えるべきと考えますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

やはりドライブレコーダーの設置は、運転者の交通違反や交通事故の抑止につながる効果もあると思っておりますので、条件に加えるように検討してまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

ありがとうございます。先ほどからドライブレコーダー、防犯カメラ、お答えしていただいているんですが、ドライブレコーダー設置事業の中に、地域の見守り協力者ステッカー交付申請書というものがあります。その書面の上段に、糸魚川市が推進する安全・安心なまちづくりの取組に協力し、ドライブレコーダーを活用した見守り活動を行うと書かれていましたが、この団体は、市が事務局となっている糸魚川市防犯組合連合会です。ぜひ市が先頭となって牽引して、ドライブレコーダー、また、防犯カメラといったところを牽引してほしいと要望します。

続きまして、3番目の糸魚川産木材についてです。糸魚川市内は、製材業者がどのように推移してきたか、ピーク時から現在に至るまでの業者数と、そこで働く従業員数を把握しているか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島農林水産課長。〔農林水産課長 木島美和子君登壇〕

○農林水産課長（木島美和子君）

お答えいたします。

糸魚川木材連合会にお聞きしたところ、昭和50年代は、名立の業者を含んだ数で46社、平成8年は30社でございました。市町村合併によりまして、名立の業者が抜けた平成19年は18社、今現在は5社となっております。

従業員数につきましては、過去の推移は分かりませんが、現在は40名弱とお聞きしております。以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

製材業者は、コスト削減や労働者の作業軽減のために機械の更新、自動化等の設備投資を行ってきましたが、体力のない製材業者が廃業されてると思います。糸魚川市は、これまで製材業者の支援は、どのように行ってきたか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島農林水産課長。〔農林水産課長 木島美和子君登壇〕

○農林水産課長（木島美和子君）

お答えいたします。

設備投資につきましては、県の補助事業に市もつけ足し補助を行っておるところでございます。

また、ふるさとの木の家づくり事業によりまして、住宅や店舗の建築に係ります地場産材の購入に対し助成を行い、地場産材の普及、利用の促進を図っているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

ありがとうございます。市民の考えでは、地元産木材は高く、大手メーカーで取り扱う外来材は安いと感覚で思っています。地元産木材を使用した場合に住宅、店舗等への補助制度を利用することで同等レベルの価格になることが、まだまだ理解されておられません。市民へのアピールを強化するために糸魚川市も糸魚川木材連合会と連携を組み、進める考えはあるでしょうか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島農林水産課長。〔農林水産課長 木島美和子君登壇〕

○農林水産課長（木島美和子君）

ふるさとの木の家づくり事業につきましては、糸魚川木材連合会のほか、森林組合、建築組合連合会、そして、県及び市を構成員とします協議会組織が実施主体となり、事業実施をしております。

市民周知につきましては、SNSを活用した情報発信や施主及び工務店さんのご理解をいただく中で建築見学会の開催、建築現場への地場産材PR用メッシュシートなどの設置、また、建物の内部をホームページ等で紹介させていただくなど、地場産材の活用と制度の周知に努めているところでございます。今後もより一層、関係団体と連携しまして、取組を進めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

ありがとうございます。常にそういった団体と連携を組み、問題解決に向かってほしいと要望します。

現在、糸魚川市において、山林、農地、水路などの自然環境の荒廃が見られ、里地里山システムの崩壊が問題視されています。当糸魚川市の面積の87%が森林という環境下において、里地里山システムの改善に向けた取組を、今後、糸魚川市はどのように考えてるか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島農林水産課長。〔農林水産課長 木島美和子君登壇〕

○農林水産課長（木島美和子君）

お答えいたします。

農業の面では、町なかなどの一部地域を除いたほぼ全域におきまして、農家の皆さんが中山間地域等直接支払制度などを活用した農用地の維持・管理活動に取り組んでおられます。これらの取組

によりまして、農地・農村の持つ多面的な機能の保全につながることから、今後も継続してまいりたいと考えております。

また、林業の面では、森林経営管理制度の推進や地場産材の利用拡大を図ることによりまして、森林環境の整備につながるものと考えております。特に地場産材の利用拡大につきましては、川上から川下までの林業関係者が現状認識を共有しまして、経済の地域内循環の仕組みづくりに自ら取り組むことが重要と考えておりまして、現在進められております3Mの取組に、今後も連携・協力してまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

農作放棄地などでは、竹類の侵入、ごみ投棄、また、国土保全機能の低下による災害発生、水源涵養機能の低下などがあります。

また、近年では、鳥獣問題もいろいろ問題視されてます。この里地里山システムの改善をぜひ市が率先して取り組むよう要望して、私の一般質問とさせていただきます。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、近藤議員の質問が終わりました。

関連質問はありませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○5番（中村 実君）

先ほどハッピーコーディネーター6名で29人の成婚の実績があったということですが、29人は分かったんですけど、これ年に何名とかという数は分かりますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えします。

平成19年度から始まっているんですが、やはり年によってもばらつきはあるんですが、やっぱり一番多いときは年4件ぐらいです。少ないときは、やっぱり1件という状況になっております。大体23年、24年、25年が、大体4件で推移をしているという状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○5番（中村 実君）

いろいろな取組をしているということですが、やはり地元をよく知っているハッピーコーディネ

一ター、先ほどだと6名ですよ。これをもう少し増やしていく必要があるかというふうに思うんです。なかなかこれ、結びついた後に、たしか8万円でしたか幾らでしたかあると思うんですけど。もう少し報奨金というんですか、これ何ですかね、これを上げる必要があると思うんですが、いかがでしょう。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

謝礼につきましては、成功1件で8万8,000円になっています。たしか私も当時、企画財政課のときにこのお話が、直接担当はしてなかったんですが、何で8万8,000円なんだという形であったんですが、末広がりというような形で決めたというふうなのがございますので、こちら辺が価格が適正なのかどうかというところは、ほかの他市の状況ですとか、状況を見る中で、もっと研究はさせていただきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○5番（中村 実君）

金額的には、上げるって10万、15万というわけにはいかないと思うんですけど、ただ、これはまず、相手を合わせなきゃいけない。昔ならうちへ呼んで、お茶飲みながらという話もあったんでしょうけど、今はほとんどどっかの飲み屋さんかなんかで、まず1回目は会うということなんです。話合い、少しずつお酒を飲みながら話合いをして、気持ちを確かめていくということだと思います。たしかそういうものにお金は使っちゃいけないということだと思いますけど、その辺はどうでしょう。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えします。

確かに成婚1件につき、謝礼という形で8万8,000円なんですけど、今、議員が言われたような、やっぱりそこまで行くまでのプロセスでも、やはり本当にお金がかかっているというのは承知しております。今のところは、そういったところへの経費の用途については、定めておりません。コーディネーターさんも本当に精神的なボランティアで何とかしたいというお気持ちでやっていただいていると思うんですが、この仕組みも平成19年度から進めてまいっております。事業のほうも、もう一度再構築する中で、適正な経費の在り方ですとか、どういった人がいるのか、そこら辺はやっぱりコーディネーターさんの意見を聴きながら進めていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○5番（中村 実君）

結婚支援ということでもありますので、少しはそういうところにも目を向ける必要もあるかなというふうに思いますし。

それともう一点、何度か言わせていただいているんですけど、議員はこの中に入れないということなんですよね。要は謝礼をもらえないという、違反になるという。その謝礼は要らないんだということになると、それもまた違反になるということなんですけど、その辺をもう少し改めて、謝礼が欲しいという話じゃないんですよね。議員というのは、やはりいろんな人との付き合いがあるので、結婚支援については、結構いい情報を持ってると思うんですよ。やはりそういう人たちがもう少しコーディネーターと関われるような体制づくりをしっかりとしていかないと、実績も伸びないんじゃないかなというふうに思うんですけど、その辺はいかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

確かに議員のお立場というところ、いろいろ縛りもございますので、それは十分承知いたしております。

ただ、本当にこういう糸魚川市の発展に寄与していただきたいというお気持ちは、非常に理解いたしたいと思っております。何らかの形で、コーディネーターさんと、うまく側面的に支えていただくような、いろんな情報を頂けるような、そこら辺の取組も重要視してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○5番（中村 実君）

昔は、世話焼きおじさんとか世話焼きおばさんとかというのがいて、いろんな人たちを、組合せを合わせたりということがあったんですけど、今もうそういう時代ではなくなってきた。やはり今、議員が18人いるわけですから、この18人を使って、もう少し情報を集められるような仕組みづくりをしっかりとやっていただければ、もう少し実績も伸びてくるのではないかなというふうに思いますので、その辺を要望いたしまして、終わります。ありがとうございました。

○議長（松尾徹郎君）

ここで暫時休憩いたします。再開を11時といたします。

〈午前10時48分 休憩〉

〈午前11時00分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。